

★ 営農ウィークリーNEWS ★

食品ロス削減！使いキリクッキングイベントへ食材提供



経済部営農販売課では、3月25日、食品ロス削減！使いキリクッキングイベントへ管内の農産物を提供しました。

同イベントは、京都市環境政策局循環型社会推進部資源循環推進課主催による「ごみ減量エコバスツアー」と題して京都市内の小中学生を対象に暮らしに身近なごみ問題を見つめ直し、更なるごみ減量や分別・リサイクルについて理解を深めるため、ごみの処理・再資源化施設や埋立処分地な

ど環境学習施設等を見学する無料のイベント。

その見学コース内の関連イベントとして、使いキリクッキングイベントが、京都市伏見区にある京エコロジーセンターで開かれました。今回、一般公募による18人の親子が参加。株式会社ミツカン 営業本部 営業企画部 営業企画2課 主任の



柳谷惇さんが講師を務め、野菜を新鮮なうちに美味しく食べ

きるピクルスメニューの中から調理・試食されました。

JAでは、京都市、株式会社ミツカンと事業連携を行っており、今回は、イベントで使用された食材の伏見区産「キャベツ」の提供を行いました。



—TAC information—

「京たけのこ」PRポスター完成



「京たけのこ」オリジナルポスターは、地域特産物の消費拡大と地元産農産物の認知度向上を目的として、「京都茄子」「京おくら」「花菜」や「京はたけ菜」などに次いで作成しました。農産物の画像とデザインは、営農販売課の職員が手掛けたものです。経済事業店舗である西南部経済センター店頭「花菜」「京都茄子」「京おくら」のポスターとともに掲示し、旬を迎えている「京たけのこ」など特産品のPRを行っています。



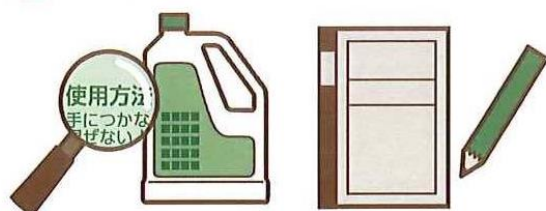
農薬使用の際は、登録ラベルを必ず確認しましょう！

／ 安全・安心な農産物づくりのため ／

守ろう！3つの基本

1

農薬の適正使用と履歴 記帳の徹底を



- ✓ 最新の使用方法を確認して使用
- ✓ 使用日、場所、作物名、農薬名、使用量、希釈倍数をしっかり記帳

2

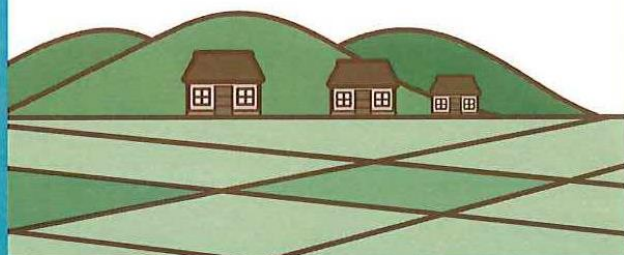
安全は日ごろの管理から



- ✓ マスク・手袋・メガネ・防除衣の着用
- ✓ 使用後は散布器具の洗浄を徹底
- ✓ 農薬は安全な場所に鍵をかけて保管
- ✓ 農薬は誤用・誤飲・誤食などを避けるため他の容器に移しかえない

3

周辺環境への配慮も 忘れずに



- ✓ 周辺作物への農薬飛散防止（風向き・散布圧に注意）
- ✓ 住宅地周辺での農薬飛散防止・散布の周知
- ✓ 田んぼで農薬使用後7日間は落水・かけ流しをしない
- ✓ 耕種的防除で農薬使用を減らす工夫

* 農薬の使い方や適用作物については、最寄りのJAまたは農業改良普及センターにご相談ください

京都府農薬適正使用推進協議会

（JA京都中央会・JA全農京都・京都府）